

令和5年度

10月号

研究部だより



事務職員会研究部

研究部 紹介

はじめまして!今年度の研究部員です。今年度の研究部では、第2期活動プランの「カリキュラムマネジメント」についての研究と、「これからの研究活動」についての協議を並行して行っています。難しさを感じながらも、担当副会長や県グランドデザイン担当者にアドバイスをいただきながら、12名が一丸となって話し合いを進めています。どうぞよろしくお願いいたします。



令和5年度の活動の重点 「カリキュラムマネジメント」

カリキュラムマネジメントとは、「教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと」「教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその実施状況を評価して改善を図っていくこと」と言えます。そのカリキュラムマネジメントを、より実効性のある効果的なものにするために、第2期活動プランでは3つのポイントを上げています。ポイントに記載されていることはどんな事なのか、教育の質の向上に向けて一緒に考えていきましょう。

R5 <カリキュラムマネジメント>

学校事務を教育の支援から創造へ展開し、教育の質の向上に貢献する

- 組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るため、教育課程を編成するものから経営するものへ転換する
- 教育課程を軸に、経営的視点から主体的・積極的にかかわることで、チーム学校の一員として他職種とともに教育を創り上げる
- 教育課程の編成・実施・評価・改善の各段階に主体的・積極的にかかわり、教育課程と条件整備を一体としたPDCAサイクルを確立する

第55回全国公立小中学校事務研究大会(福井大会)

8月3日～4日、福井市において、第55回全国公立小中学校事務研究大会(福井大会)に参加させていただきました。

【大会テーマ】

「地域とともにある学校をつくるリーダーシップと組織開発」
～みんながリーダー！子どもたちの「福」があふれる新時代の組織づくり～



本部研究分科会(全事研本部)& 全体研究会

分科会テーマ「地域とともにある学校をつくるリーダーシップと組織開発」

－ 多様な人材の可能性を引き出す学校事務 －

「今の仕事の意義を省察し、みんなが「やりとげた」と思えるしかけが必要。」「それぞれがリーダーシップを発揮できる環境が大切で、そのために必要な要素は「居場所」「出番」「評価(応援)」「またあなたと仕事がしたいと言われることが大切。」なるほどなどと思う要素満載でした。(高柳)

第1分科会(東海プロジェクト)

分科会テーマ「「リーダーにとって都合の良い組織」を作る」

－ 変わらないを変える自走する組織 －

「リーダーはメンバーに対し、組織の軸であるビジョンの共有を図り、答えを与えるのではなく、答えを創り出すサポートを行う。メンバーはビジョンを理解し、目的達成のために自分にできることを主体的に考え行動する。」自分が置かれている立場を見つめ直し、自分に求められていることは何かを考える機会となりました。(神谷)

第3分科会(新潟支部)

分科会テーマ「子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校づくり」

－ ACTでつくる組織のミライ －

「組織の一体感と個人の主体性が、組織開発(＝常に組織が活性化している状態)へ繋がる。」「予測困難な時代といえども、未来予測から逃げずにわかっている未来を踏まえた対策や研究が必要だ。」組織と個人は相互に作用し、高め合うことができることがわかりました。(岡野)

第6分科会(福井支部)

分科会テーマ「「意識」×「仕組み」で「協働する組織文化」を創り出そう！」

－ ポジティブに しなやかに 進化し続ける学校組織へ －

「組織を変化させるために二方面からのアプローチが有効であり、協働により意識の壁(心理的負担)を、仕組みづくりにより仕組みの壁(実務的負担)を乗り越え、同時に行うことで相互に作用していく。」仕組みづくりの過程を大切にしながら、意識と仕組みをかけ合わせしていきます。(安本)

7月31日に開催された新潟県学校事務研究協議会第40回研究大会に参加させていただきました。

「地域とともに学校を創造する学校事務の追究」を主題に全体会・分科会が行われました。(勝治・遠藤)

